

# 福寿

福寿コミュニティセンターだより

No.57

令和5年8月1日

# いきいき通信



発行：福寿町コミュニティ運営委員会／福寿コミュニティセンター

## コロナ後の地域活動



福寿町自治会長  
番 敏 郎

令和5年4月より自治会長職に就いた折、コミュニティセンターから相談を受けたのが数年続いたコロナウィルス禍の影響により、ほとんどの行事が中止となつてコミュニティ活動が停滞したことでした。一度活動を中止してしまふと、なかなか再開できないこともあります。

しかし、これもポジティブ思考で考えるならば、今まであつて当たり前のものであつた行事のあり方、時代に合つたかつ住民の要望とマッチしているか、内容の見直しを行い代替手段や新しい方法、新しい参加者や協力者となつていく方法について考える機会と捉えてはどうかと思います。

羽島市は、昭和29年に福寿町を含む10町が合併してできましたが、その当時の福寿町の人口は2,468人、令和5年5月1日は8,206人となっています。多くの方が福寿町に新しく居を構えて福寿町民として生活されているなかで、できるだけ多くの人が参加しやすい活動時代にあつた方法を話し合い、地域の皆さんが連帯しお互いに助け合うことの重要性を見いだすことで住民同士のつながりを深める大切な交流の場としての地域活動が必要だと思ひます。

## 令和5年度 行事のお知らせ

NEW

10月1日(日)

## 福寿スポーツレクリエーション大会

(旧福寿町民運動会)

NEW

11月26日(日)

## 福寿町 みんなの防災文化祭

(旧福寿町文化祭)

今年度から事業の内容をリニューアル!!  
詳細は後日、お知らせいたします お楽しみに

# 今後の地域活動について

福寿コミュニティセンター館長  
田中 安志郎

少子化、高齢化社会、生活スタイルの多様化という昨今、福寿町は人口が増加し住宅の建設が見られる町です。

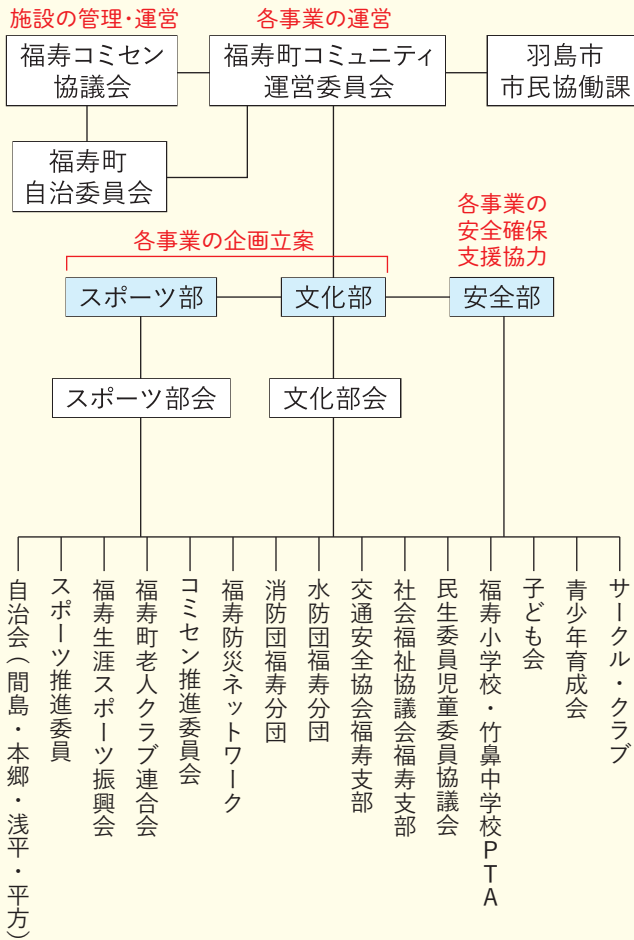
とはいえ、この3年間はコロナ禍で、地域の行事は活動の規制があり中断せざるを得ない状況になり、町民の親睦の機会や交流の場が少なくなりました。今まで築き上げてきた伝統や風土づくりに陰りが見えた期間でもありました。

アフターコロナで地域の活動は、取り巻く環境の変化に寄り添い、若い人から高齢者までが気軽に参加できる持続可能な地域行事や地域の活動を継続させていくことに意義があります。また、地域の将来を担う子どもたちが地域とのつながりのなかで郷土愛を育て、文化の継承のみならず、町の存続に貢献する希望が持てます。

地域の活動は、「町民が主役」です。町民の皆さんの協力こそが、将来に繋げる町づくりになります。

「地域・連帯・創造」  
未来（あした）につながる絆の和

## 令和5年度 福寿コミュニティセンター組織図



## 新しい年度を迎えて、コミセンの活動が少しずつ始まっています。その一部を紹介します。

6/15 大人のぬり絵(色鉛筆画)



6/13 グリーンの寄せ植え



6/13 田植え体験(福寿小学校)



6/23 スポーツ部会



### コミセン講座募集のご案内

『アーティフィシャル  
フラワーアレンジ』



(造花と雑貨で作る置物)

日時 10月24日(火)  
10:00~11:30

材料費 2500円

申込先 福寿コミセン  
TEL:391-2267